

ブタにおける日本脳炎ウイルス HI 抗体保有状況 (2017 年)

藤澤直輝・山田直子

2017 年 7 月から 9 月の間に島根県食肉公社(大田市)で採取したブタ血清について JaGAR#01 株に対する HI 抗体の推移および 2ME 感受性抗体を測定した。なお、2ME 感受性抗体は HI 抗体価が 40 倍以上となった際に行うこととした。結果は下表に示すとおりである。

7 月上旬に 10 頭中 9 頭(90%)が抗体陽性となり、7 月中旬に 40%、7 月下旬に 90%が抗体陽性となった。しかし、抗体価は 10 倍および 20 倍であったため、2ME 感受性抗体試験は実施しなかった。

Konno らによれば、ブタの半数以上が抗体陽性となると約 2 週間後からその地域で日本脳炎患者が発生することを報告している¹⁾。

実際に 2016 年は 8 月下旬から抗体保有率が 60%となり、日本脳炎患者が発生した。

2017 年は 7 月に抗体保有率が半数以上となったが、幸いにして患者発生は確認されなかった。

次年度も引き続き調査を実施し、流行予測、予防啓発に努めたい。

*本調査は平成 29 年度感染症流行予測調査実施要領(厚生労働省)に基づき行った。

1)Konno, J et al. American Journal of epidemiology. 1966. 84: 292-300.

ブタの日本脳炎ウイルス HI 抗体保有状況 2017(平成 29)年

採血日			検査頭数	HI抗体価							HI抗体保有率	2ME感受性抗体			
年	月	日		< 10	10	20	40	80	160	320		≥ 640	検査数	陽性数(%)	
2017	7	5	10	1	8	1						90	%		
2017	7	14	10	6	4							40	%		
2017	7	28	10	1	9							90	%		
2017	8	4	10	10								0	%		
2017	8	18	10	10	1							10	%		
2017	8	25	10	10	1							10	%		
2017	9	1	10	10								0	%		
2017	9	15	10	10								0	%		